

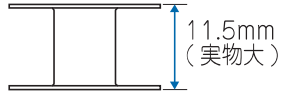
下糸の準備

手順に従って下糸を巻き、正しくセットしましょう。

◆ボビンの取り出し方

お願い

ボビンは、専用のものをお使いください。

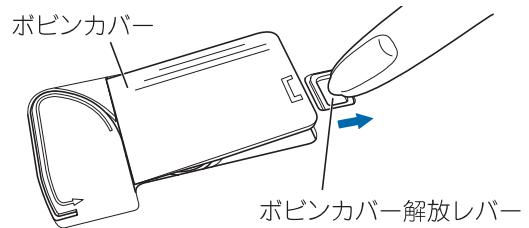


注意：ケガ防止のために；

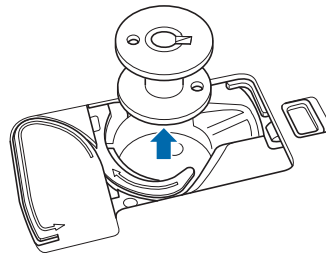
必ずロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。操作が終わったら、ミシンのロックを解除してください。



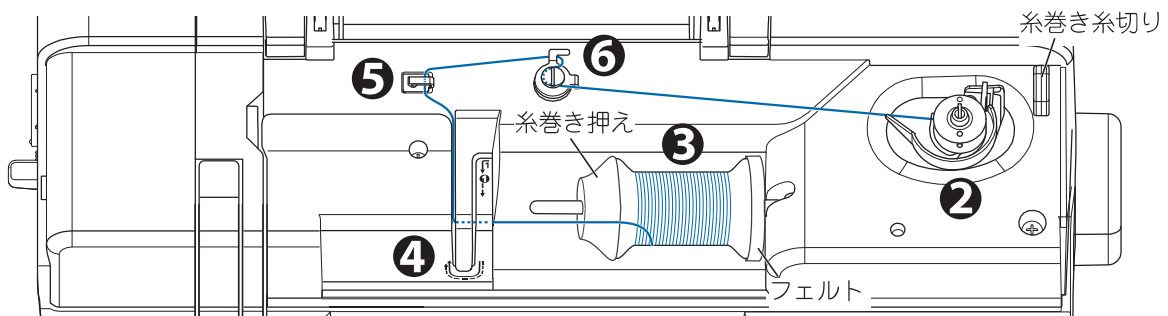
- 1 ボビンカバー解放レバーを右に押し、ボビンカバーを取り外します。



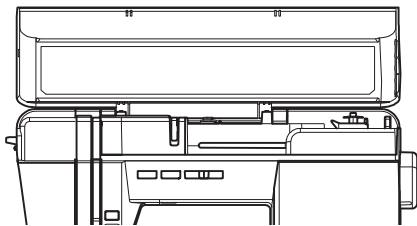
- 2 ボビンを取り出します。



◆下糸の巻き方

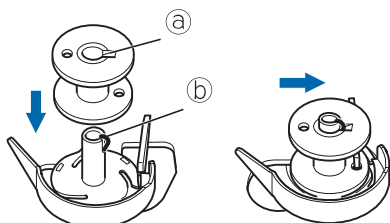


- 1 トップカバーを開けます。

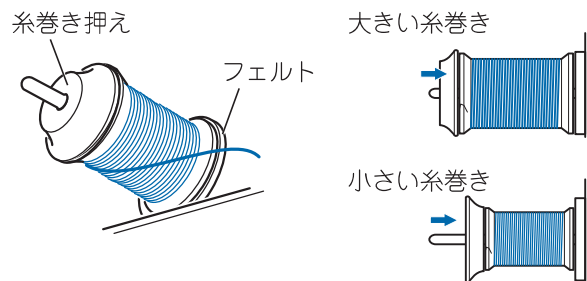


- 2 ボビンのミゾ①が、糸巻き軸のバネ②に合うように、ボビンを軸に差し込み、右に押し込みます。

案内窓に「下糸巻き中」のメッセージ画面（97ページ参照）が表示されます。



- 3 糸が下側から出るようにして、糸巻きを糸立て棒に入れ、糸巻き押えを差し込みます。

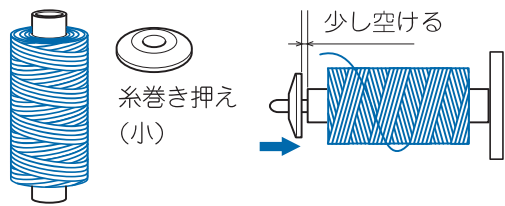


お願い

必ずフェルトを糸巻きの右にセットしてください。

糸巻き押えは、糸巻きの大きさに合わせて方向を変えます。

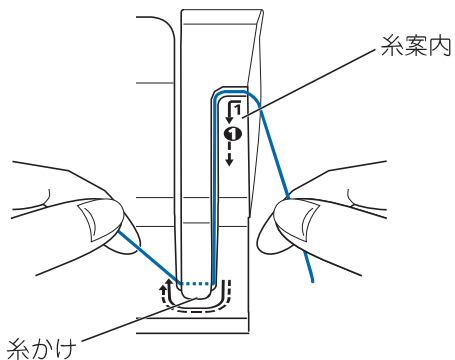
下図のような糸巻きをお使いの場合は、糸巻き押え（小）を取り付けてください。



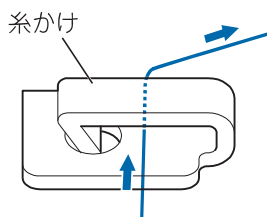
i お知らせ

通常の糸巻き押えでは、糸がスムーズに出ないときがあります。取り付けは、糸巻きとの間に少しスキマが空くようにして差し込みます。

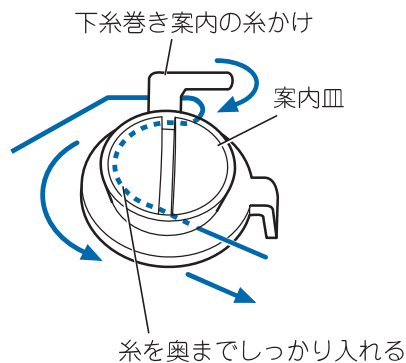
- ④** 糸を両手で持ち、矢印にそって糸案内の後ろからかけ、次の糸かけの下に右からかけ、上に引き上げます。



- ⑤** 糸を後ろに引き、糸かけの下を左から右にかけます。



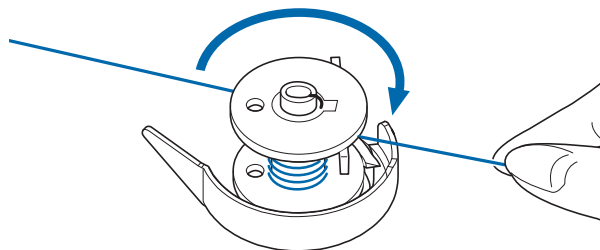
- ⑥** 下糸巻き案内の糸かけに後ろからかけ、案内皿の下に左回りでかけます。



お願い

糸を案内皿の下にしっかり入れてください。糸が奥までしっかり入っていないと、ポビンにきれいに巻かれなかったり、ポビン以外の部位に巻き付いてしまったりする場合があります。

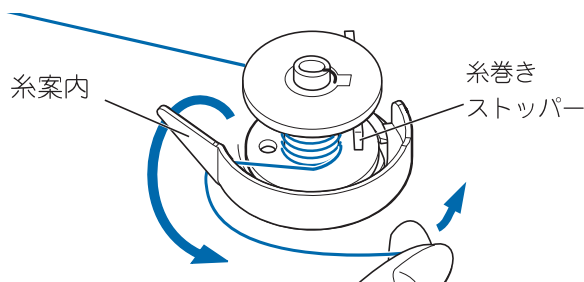
- ⑦** 糸がたるまないようにしながら、ポビンに右回りに4、5回、巻き付けます。



お願い

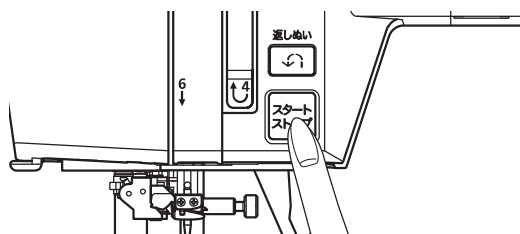
糸は必ず右回りに巻き付けてください。誤って反対方向に巻き付けると、糸がポビンに巻かれません。

- ⑧** ボビン受けの糸案内にかけ、左回りに糸を引き、糸切りで切ります。



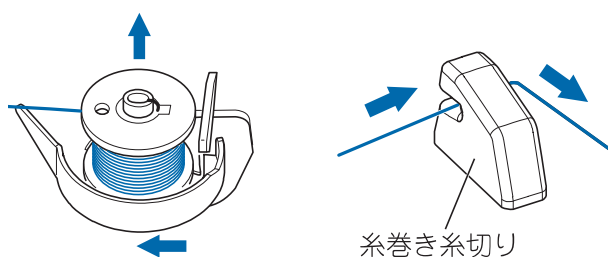
左回りに引くだけで、糸が糸切りにかかり切れず。

- ⑨ スタート・ストップボタンを押します。



糸がボビンに約80%巻かれると、糸巻きストッパーが押され、自動的に止まります。

- ⑩ 巻き終わったら、糸巻き軸を左に戻してボビンを外し、糸巻き糸切りで切ります。



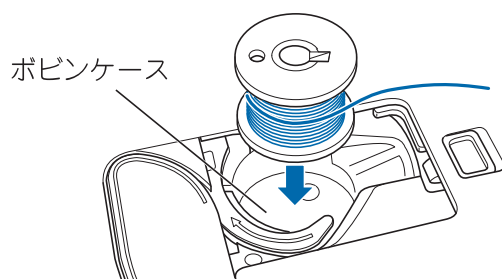
糸巻き糸切りの後ろのミゾに糸をかけて切ります。

◆ボビンのセット

! 注意：ケガ防止のために；
必ずロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。操作が終わったら、ミシンのロックを解除してください。



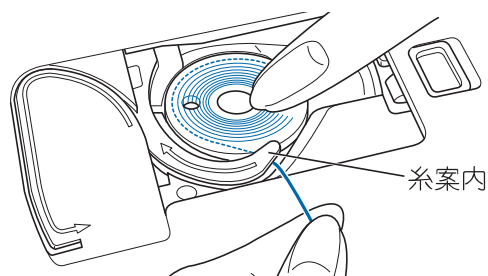
- ① ボビンを糸が左回りになるようにして、ボビンケースに入れます。



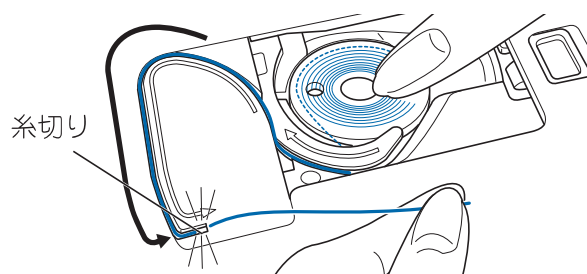
お願い

糸の方向を間違えないように注意してください。

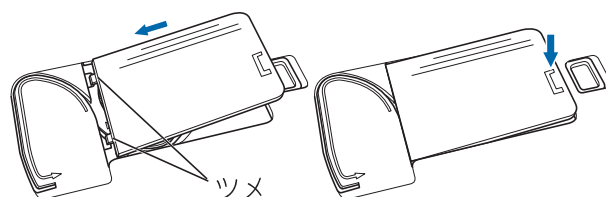
- ② 右手でボビンを軽く押え、左手で糸を糸案内に引っかけます。



- ③ ミゾに沿って、上から下に通し、右に引いて、糸切りで切ります。



- ④ ボビンカバー左側のツメをミゾに差し込み、右側を軽く押して取り付けます。



お知らせ

このミシンは、下糸を引き上げなくても、このままでぬい始めることができます。
もし、下糸を引き上げてぬいたいときは、40ページの「下糸を長くにとってぬいたいとき」を参照してください。